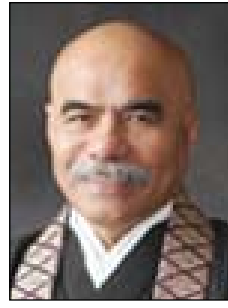




本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム ブリオネス

お盆に思う

親鸞は父母の孝養のためとて、一返にても念仏申したること、いまだ候はず。そのゆゑは、一切の有情はみなもつて世々生々の父母・兄弟なり。いづれもいづれも、この順次生に仏に成りたすけ候ふべきなり。

今年もお盆の時季を迎えます。残念ながらコロナウィルスの影響により以前のようにお祭りを開催し、大勢の方と食べ物やゲーム、盆踊りに興じるという事は再び叶いません。特に盆踊りに関しては多くの方が残念に思っています。迎えることができないからこそ、ここで今一度お盆の意味について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

お盆は亡き人を悼む仏事です。それはその方達の人生からいただいたことの大きさと深さに目覚め、それらが亡くなった後も変わらずに私たちの人生に大きな影響を与えてくれているということに気づかせていただく縁ともいえるでしょう。亡き人のおかげで今の人生があるという事実が目覚めた時、深い感謝の気持ちで湧き起こってくるのです。お盆にお墓参りをしたり法要にお参りすることを通して、私たちは自らの人生を見つめ直す機会をいただいているのです。言い換えるなら、お墓参りも法要も、ご縁の中に生かされてある人生だったということを感じ、そのことを教えてくれた亡き人への感謝の表現だと言えるでしょう。

一方で新聞などでは、あの世から亡き人をお迎えして東の間の再会をする日がお盆だという解説を多く目にします。また盆踊りの起源になったという話にも諸神に願を懸けるというところが出てきますから、それが真宗のお盆の意味だと勘違いされている方が多いのが現実です。

冒頭にご紹介したのは『歎異抄』の第五条の一節です。ここで親鸞聖人は父母の孝養、つまり先祖供養についてのお考えを述べておられます。聖人以前の時代では、亡き人との関係は追善供養を基本としていました。ですから、法要を勤めるのも、寺院や仏塔を建てるのも、読経や念仏すらも亡き人のための追善供養でした。それは生きていた私たちが亡き人に代わって彼らのために善行を積んで、その結果として亡き人がより良い場所に行けるようにするためのものでした。しかしながら、親鸞聖人はそうして追善供養を表面的で重要なものではないとして捨てた方でした。そして念仏を称えることは、他の人の功德、たとえそれが両親であっても、を積むための道具ではない、おっしゃられているのです。

浄土真宗では、亡き人の死を通して諸行無常の真理と向き合うことをお盆の大切な意味として伝えてきました。限りのある命を私ほどのように生きていくだろう、と振り返り、死すべき身が今生きているという事実の有り難さを、念仏を称えることで表現してきたのです。そして大きな喜びと深い感謝の気持ちを全身で表現するのが盆踊りなのです。

別院と同様に南加地区の多くのお寺がお盆のイベントの規模を今年も縮小させなければならぬのはとても残念なことです。そのような状況でも、多くのお寺でご門徒限定や、事前予約をした方のみなどの制限がある(三二面へ)

L.A. Homba Hongwanji Buddhist Temple 815 E. First Street Los Angeles, CA 90012 Tel: (213)680-9130 Fax: (213)680-2210 E-mail: info@NishiHongwanji-la.org Website: www.NishiHongwanji-la.org

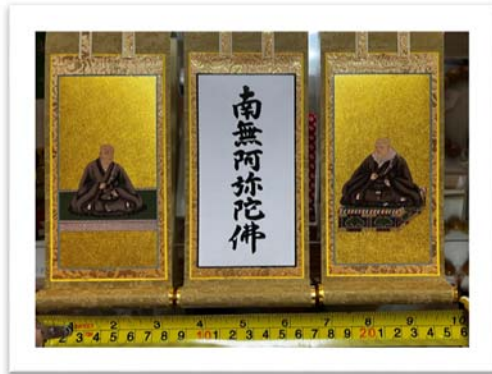


ページ案内

- 一頁 総合
二頁 西ABA特集
三頁 法話、コラム
四頁 弔意・感謝録
西の思い出

最近の別院の写真

(上写真) 西別院ブックセンターでは仏壇用のお掛軸を取り扱っております。お自宅にご本尊をお迎えされたい方は、日曜礼拝後にブックセンターまでお越しください。(下写真) 人形教室を定期で行っています。鞘野夫人が指導して下さいっております。想像以上に本格的で驚きました。(執筆者談)



羅府別院理事長より



理事長 田端 パメラ

盛夏の候、皆様には暑中お見舞い申し上げます。夏と共にお盆の季節がやってきます。ここ数年一歩ずつ以前のお盆カーニバルの姿を取り戻せるよう歩みを進めて参りましたが、ここにきてそれにはさらに多くの困難を伴うことが予想されてきました。

思い返せば、年に一度有縁の方々がお揃って旧交を温めることができましたのも、私たちのご先祖様から賜った機会のお陰でありました。以前にも同じ事を述べましたが、この頃改めてそれをしみじみと思うのです。

常々、私たちのご先祖様は亡くなってから浄土に生まれて、すぐこちらの世界に戻ってくると思われてきました。私の場合、浄土に生まれた方々は私の心に戻って来て下さっているように感じま

す。先人たちの想いは継承されて、今度その想いは私たちの子や周りの人に伝播していくことでしよう。彼らの想いは私たちの身を通して生き続け、それが次世代に伝わり続ける限りはこの想いも生き続けることでしよう。傍から見てもそれが真実か偽りであるかは別として、私の場合、いつもそう受け取ってきたことで救われてきました。

いつもお伝えしていることですが、今年のお盆が最後のドライブスルー形式になることを願っています。ここ数年のドライブスルーお盆は、買って下さる皆様とボランティアスタッフのお陰でお盆カーニバルという行事を続けてこれました。改めて深く感謝の気持ちをお伝えたいと思います。

また、西別院の仏教婦人会はジュニー・オピさんを筆頭にサイレントオークションを数度開催して下さいしております。婦人会の会員はオークションに出品する品物の提供をお願いして回って、それらをこの時報の読者の皆様で購入して下さい。オークションが成り立っています。オークションを介した売上は西別院の設備の充実に充てさせて頂いております。

一人々々の皆様からの尊いお気持ちに対して、感謝申し上げます。合掌

【七月・八月のご案内】

- 祥月永代経法要(於 アイブリッド)
七月三日 (日) 午後一時
ドライブスルーお盆カーニバル
七月九日 (土) 午後二時から五時
初盆会 (於 アイブリッド)
七月十六日 (土) 午前十時と午後一時の二座
孟蘭盆会 (於 アイブリッド)
七月十七日 (日) 午前十時
御講師 古本 竜太郎「洗心仏教会」日英
戦没者追悼法要 (於 アイブリッド)
八月七日 (日) 午前十時
祥月永代経法要(於 アイブリッド)
八月十四日 (日) 午後一時
日曜礼拝 (於 アイブリッド)
毎週日曜日 午前十時

別院お休み(Independence Day) 七月四日

※アイブリッド: 本堂かZoomでの参拝を選択できます。屋内参拝は要ワクチン接種もしくは陰性証明書を持参ください。

本派本願寺羅府別院

BCA Buddhist Churches of America VIRTUAL OBON DANCE AUGUST 14, 2022 @ 2PM (PT) Broadcast on CBE Youtube Channel: https://tinyurl.com/cx4wb6s6

【この話ご存知でしたか】

ナンシー はやしばら

翻訳 伊藤千鶴子

1997年、西成人仏教徒会であるABA (Adult Buddhist Association) はお寺に大人向けの団体の必要性を感じたメンバーで結成されて二十五年の月日が流れました。ABAの初代会長のはたけやま けんじのリーダーシップの下で始まりました。ABAは別院で行われるあらゆる活動やセミナーなどを支援し、メンバーや他のお寺のABA会員との親睦活動を楽しむことを目的として設立されました。

元々は1956年にジャック いわた を初代会長とする青年仏教徒会YABA (Young Adult Buddhist Association) が組織され、その目的は第二次世界大戦前一度離れた元YABA会員を別院で活動させ、一世の指導者と二世三世の若い世代との間の隔たりを埋めることでした。南部地区YABAは1956年に非公式に結成されました。翌年の2月にはYABAはWYABL (Western Young Adult Buddhist League) への入会を希望し、その後すぐにガーテナ、洗心、西ロサンゼルス、パサデナと西別院を含む南部地区YABA評議会が結成されました。最終的にWYABLはWABL (Western Adult Buddhist League) となり、1964年にYABAの名前がABAに変更されました。以来ABAは三十二年間活動を続けてセミナーや勉強会を主催し、敬老ホームへの訪問、Yasunaサービスなどを支援し続けて、お盆や二世ウィークの行事にも参加していました。そして1988年、初期のABAは正式に解散しました。再結成後の西ABAはこの二十五年間で宗教セミナーを開催し、他のお寺のABA組織と交流し、お盆やその他の活動で別院を支援してきました。

2019年は音楽バンドABA Sonicsが結成され、トーマス もちずき(歌手兼ギター奏者)、デニス おおたに(歌手)、エリック クオン(歌手)、ロニー クオン(マネージャー)、ジャックを中心に活動し、後年にはロイ やまとく(ドラマー)、おの よし(エレクトリック・サクソ奏者)、はたけやま けんじ(歌手)、ジェラルド フェラ(ベースギター奏者)ら四名が新たにABA Sonicsに加わりました。このバンドはサーフ&ターフの募金ディナー、BWAABAの新年会、お盆の余興など演奏しています。また最近では、独立記念日の祝日に西の駐車場を借りてライブコンサートを行っています。

2020年3月以降はCOVID-19の感染症が広がったことで、ABAは多くの活動を控えています。ABAのメンバーはお寺の案内物の郵送作業や寺院環境の整備保全活動など裏方作業を手助けしており、西別院のCOVID-19対策委員会と協力して衛生基準を作成する手助けを行うなど今後も安全に西別院で活動できるようにお寺を支え続けています。多くのABAのメンバーは西別院の理事会の役員も兼任しており、またその他の委員会や西センター、ブックセンターなど寺院活動全般で各々のメンバーが活躍しています。このパндеミックの間はズームで月例会合を続けていました。ABAの活動は

屋外または会館で行われてきました。パндеミックが一旦落ち着き始めてからは再び活動を再開し、バンドは会館で毎週練習をしています。ABAの会議は定期的な月に二回開催されます。寺院活動の支援や仏教について学んだり、他のお寺のメンバーとの親睦にご興味のある方は是非ABAの一員として一緒に活動しましょう！連絡先は、ABAメンバーに直接お尋ね頂くか、寺務所までお問い合わせください。

【追記】ナンシー はやしばら氏は、西別院のメンバーとしてお寺に長年貢献されてきました。現在の彼女は西別院理事会の書記担当、法要などの行事に於けるオルガン演奏者、次期ABA会長でもあります。過去にはカブスカウトとボーイスカウトの議長を歴任し、日曜学校父母会の会長を務め、ガールスカウトのリーダーとして活動していました。ABAが1997年に再結成されて以来、はやしばら氏は西ABAの中核的存在としてグループをけん引されています。(執筆者 ダイアン おだがわ)



(上写真) ABAソニックメンバーの集合写真。会館下の倉庫にて。(右写真) ABAメンバーでのグループフォト

快い朝の遠足

西ABAのメンバーは、四月九日、カーボンキャニオンリージョナルパークまで遠足に行ってきました。コロナ禍で自宅にこもりっきりの毎日から解放されるにはなんとうってつけなことでしょう。

ここはオレンジ郡で最も背の高いレッドウッドツリーがひっそりと生えている公園です。緑生い茂る森を抜ける散歩道を抜けると穏やかな湖がハイカーたちを迎え入れてくれます。程よい道幅のあるトレイルロードの道標は背丈の低い木々とクルミの木が密集した道を抜けることに役買っています。バードウォッチャーたちはカリフォルニア固有種の鳥類のさえずりに耳を澄ませています。ハイキングをする大樹が見せる自然の神秘を楽しむことができます。半マイルほど歩くと南カリフォルニアで最大規模のレッドウッドツリー(241本)が集まった景色を見渡せます。

ABAのメンバーたちは木陰に集まり各自持参した弁当を食べました。気持ちの良い朝、美味しいお弁当を囲んで談笑が花を添えたこともあって、この日は最高のピクニックを楽しめました。



海岸ウォーキング

五月二十二日、西ABAのメンバーはロングビーチに集い散歩の会を行いました。海から来る潮風をいっぴい浴びながら散歩道に沿って歩くコースは心地よく、海からの新鮮な空気を吸っていると自ずと身も心も元気になることができました。海は私たちのカラダを刺激し、カモメが優雅に飛びたっている様を見つ、歩きながら聞こえてきたメリーゴーランドの音楽に耳を傾けました。テキーラジャックのお店でのランチを食べたのがこの散歩のハイライトだったことはここだけの話です。

ABAの社交行事は会長のロニー・クオン氏がいつも企画して下さいます。どなた様でも参加できますので、ご興味のある方は是非ご連絡下さい！



(一面続き)にせよ、盆踊りが実施されるのは明るい兆しと言えないのではないだろうか。別院のお盆委員会はコロナ対策委員会と話し合い、ご門徒とご家族限定で盆踊りを開催することとしました。盆踊りは七月十日(日)の日曜礼拝後にスタートします。また参加される方にはワクチン接種証明書提示、屋内でのマスクの着用をお願いしております。

コロナウイルスが私たちの生活に落とす影はなかなか晴れませんが、このような時だからこそ、大切な教えとなって私たちの人生に変わることなく影響を与えてくれている幾多

「法味楽」味わう×楽しむ仏教



駐在開教使
村上 響

「私たちにはお浄土がある」

先日、墓地にて埋葬式を兼ねたお葬儀を執り行うため同地に赴きました。故人様にご子息様はいらっしゃらなかったようですが、代わりに姪っ子たちを我が子の様に可愛がっておられたとのことでしたので、お葬儀には多くの方々が参列されていました。

埋葬式は屋外でしたが春に入ったばかりの丁度良い季節でありましたので、弔辞の際には一人一人が故人様と過ごした思い出話をじっくりと語っていた姿が印象的でした。中でも、恐らく故人の姪っ子さんと思われる方が「○○さん、Heavenでまた会おうね。」と述べた言葉を側で聞いていて、妙に私の中で彼女の「Heaven」という言葉の響きが耳に残りました。

キリスト教には天国がありますが、我々にはお浄土があります。この世での縁が尽き果ててもなお続く世界が念仏者の前に広がっています。お浄土は阿彌陀様が智慧と慈悲を満足された暁に実現された仏国土であります。唯物論的な現世に比重が置かれがちな現代人にとって、この世で別れてしまった後でも「また会おうね」と言える世界が待っていてくれることの安心感というものは確かにあります。それはいざ死んでも死にゆく立場であることを見ながら、死の先で待ち構えているのが空っぽの虚しい空間が死者を圧倒する

のこと、そして大切な方の人生を通して賜っていることを静かにそしてじっくりと見つめ直してみたいと思います。それらの有り難さを実感する時、喜びの気持ちが身から溢れてくることでしょう。そして盆踊りを通してその喜びをみなさんと一緒に分かち合いたいと思っております。

南無阿彌陀仏

のではなく、現世とはまた異なったあり方をするのちが新たな仲間を迎え入れてくれるのです。そのことが分かっているならば、あのような言葉は出てこないでしょう。彼女はそれをHeavenと言いましたが、私の中では彼女が言ったHeavenの本質はお浄土と近いものだと思います。

日本では墓石に俱会一処と彫る習わしがありますが、その語源は弥陀経の一節「ゆえはいかん。かくのごときの諸上善人とともに一処に会することを得ればなり」にあります。お浄土に生まれる者たちはみな菩薩となって一堂に会します。或る意味では、現生での命を終えた人々にとっての同窓会みたいなものと言えなくもないでしょう。それもまた一興かもしませんが、お浄土に菩薩として生まれた方々には、必ず涅槃を得るべき身としての役割みたいなものがあります。菩薩が涅槃を得るには自らを向上させることに努める一方で、残った人々をお浄土へと導き、いずれは自身と同じく涅槃を得るべき身へと定まるように誘う役目があります。それは今まで生きてきた人生とは全く異なる高次な生き方です。したがって、お浄土には生まれるまでの楽しみと生まれてからの楽しみとの二種類があると申せます。それは待ちわびたあの人と再び会うことのできる場所であるということの楽しみと、再会した後は阿彌陀様が示した道を共に歩む仲間として同じ方角を目指す同志(菩薩)になっていくという楽しみです。

天国にせよお浄土にせよ死して尚輝く世界があるということを知るだけで救われるのちがあります。死んで終いの世界だけでは送る出す側も送り出される側にも寂しさしか残りません。ですが、後にも続くのちがあると思えば両者が救われることになりません。これは阿彌陀様が修められた行の功德です。この仏様は浄土に我々を迎え入れて下さり、生まれた菩薩は浄土と一味になって仏法そのものへと姿を変えませんが、菩薩同士だからこそ通じ合える境地もあるでしょう。そして、浄土から私たちの世界に舞い戻ってくるにあたって、お念仏となつて自らの存在を公に知らしめてくださっております。合掌



【パインウッドダービー開催!】四月二十三日、西カブスカウトは電子機器リサイクルファンドレイジングを行いました。当日は百台以上の携帯電話等を回収できました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。今後よりサイクルファンドレイジングが続いていきます。四月二十九日はパインウッドダービー(木製ミニカーレース)が開催されました。当日は約二十台の車がエントリーしました。次回は9月2日にレインガッターレガッタが開催予定です。(開催済)

イベント詳細は西カブのFBページ
(https://www.facebook.com/nishicub-scouts)をご覧ください。
pack738@yahoo.comまでお問い合わせください。



COVID19の為、長らく中止していましたがパンケーキブレイクファストですが二年の歳月を経て、五月八日に会館で催すことができました!来て下さった皆様、本当にありがとうございました!

